

業 種	海運（旅客）
取組分野	自然災害（台風）
テーマ	台風被害による空港ターミナル孤立客に対する緊急輸送
取組の狙い	陸上輸送機関の停止時における代替緊急輸送を通じた人道支援
具体的内容	<p>2018（平成 30）年 9 月 4 日、台風 21 号が近畿地方を直撃した際に大阪湾にて走錨した内航タンカーが関西国際空港連絡橋に衝突したため、空港は陸路・鉄路が使用不能となった。</p> <p>旅客船を運航する「株式会社 OM こうべ」は、関西国際空港～神戸空港の旅客定期運送事業を担っていたため、空港内に滞留した利用客に対して緊急輸送及び支援物資輸送を行った。</p> <p>この活動は、「株式会社 OM こうべ」と運航受託会社である加藤汽船株式会社が連携して行われた。</p> <p>1. 緊急輸送（人的輸送）</p> <p>関西国際空港（以下、「関空」という。）の被災翌日より、「2 隻で 16 便／日の運航体制」⇒「3 隻で 32 便／日（9 月 6 日のみ 28 便／日）」の運航体制により、総計 3,375 名（9 月 5 日：3,066 名、6 日：309 名）を緊急輸送した。また、入管職員その他整備に任ずる航空局職員等の緊急輸送を行った。</p> <p>2. 支援物資輸送</p> <p>神戸市から関西エアポート株式会社（関空運営者）に提供されたクラッカー 3,150 個、ツナ缶 1,512 缶の支援物資を神戸空港からの増便を活用して、受託搬送した。なお、この輸送に関して、災害支援活動への貢献が認められ、国土交通省海事局長より感謝状が贈呈されている。</p> <p>【写真左：関空内孤立者の救援活動風景－左背後は予備船の「かぜ」】 【写真右：神戸 - 関空ベイシャトル「うみ」総トン数 84G/T 旅客数 110 名】</p> 
取組の効果	<p>発災時の関空における滞留者の緊急輸送を行うとともに、入管職員その他整備に任ずる航空局職員等の緊急輸送並びに支援物資輸送を行い、関空の早期復旧に向けた支援活動により、滞留者が早期に解消された。</p>
事業者名	<p>株式会社 OM こうべ（連絡先：078-302-2381） 【運航受託者：加藤汽船株式会社】</p>